

捺印

## 岡山市區づくり推進事業助成申込書

## (地域活動部門)

平成27年6月26日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ おかやましきょうやまちくいーえすでいしいしんきょううきい

団体名 岡山市京山地区E S D

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で印んでください。) <input checked="" type="checkbox"/> ア 地域課題解決 <input type="checkbox"/> イ 地域課題掘り起し <input type="checkbox"/> ウ 地域計画づくり <input type="checkbox"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 繼続 回目 ( 年度から )
事業の目的	「自転車マナー問題」の解決は岡山市京山地区の課題です。2015年2月に開催しました第10回京山地区E S Dフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の中で多数意見として「自転車マナー問題」を取り組む必要性が提出されました。その論議を受けて、地域の絆プロジェクト企画委員会では「やさしく走ろう京山」運動を広げることとし、「自転車マナー問題」の解決を目指します。
事業の必要性	私たちの生活が安全・安心であることは最も大切なことの一つです。京山地区E S D協議会ではE S Dの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力しています。その中で、上記目的欄に記したとおり京山地区の地域課題ランキングの第1位に「交通関係」(自転車のマナーが悪い等)があげられています。すなわち、2015年2月の第10回京山地区E S Dフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の中で「自転車マナー問題」を取り組む必要性が強く指摘され決して無視できないものがありました。そのことを受けて「地域の絆プロジェクト」の中で、長い時間をかけて現状と対策を話し合いました。とりわけ、外国から来られた人が「日本人の自転車のマナーが良くないために日々大変怖い思いをしている」という発言は衝撃的でした。自転車マナーのことは全国的問題かもしれません。しかし、まず解決できる地域がコアとなって始めるべきだと思います。京山地区はその決意を固めています。

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山工業高等学校、京山中学校、岡山大学との懇談を行い、「地域の願い」を届けるとともに「やさしく走ろう京山」運動の担い手を生徒・学生に広げていく。</li> <li>・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の啓発を促す。この運動を新聞・オニビジョンなど地域のマスコミにアピールしていく。</li> <li>・企画委員会、第11回京山地区E S Dフェスティバル「地域の絆プロジェクト」で論議を深め、運動を広げていく。</li> <li>・伊島・津島学区の交通安全対策協議会、交通安全母の会、安全安心ネットワーク、老人クラブなどとの連携を深め、9月の秋の交通安全週間の取り組みを行ったり、自転車マナー教室を開催する。</li> </ul>
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしく走ろう京山」を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両とも誰もが安心して通行できる地域になることが、期待されます。</li> <li>・1, 200枚の啓発プレート「やさしく走ろう京山」が地域関係者の自転車に付けられることによって、人びとの意識の向上は必至です。京山地区ひいては岡山市の地域課題の解決が大きく進むことが期待されます。</li> <li>・成果の確認は、京山地区E S Dフェスティバルの中で「フレンドリー京山」の方をはじめ、地域の方々に改善の成果を聞いて行います。</li> </ul>
企画などの工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発プレート「やさしく走ろう京山」を制作し、各種会合で運動を推進していく地域の住民、生徒、学生に配布する。</li> <li>・保育園、幼稚園、小学校の保護者への働きかけを強め、通園、通学が安全にできる学区をめざす担い手になるように運動を広げます。</li> <li>・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布にとどまらず、「地域の絆プロジェクトだより」「E S Dカフェ」「フェスティバルでの地域の絆プロジェクト」等を通して、京山地区E S D協議会が掲げる【目指す地域像】に向けてさまざまな活動を企画・工夫します。</li> </ul>
事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の絆プロジェクトだより」を地域の全戸に配布し、広報活動を行います。</li> <li>・京山地区E S D協議会の参加団体に広く呼びかける。</li> <li>・学区内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学との交流を深め、この運動を広めていきます。</li> </ul>
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業は継続して行う必要があることは明らかです。次年度に渡って啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていきます。</li> <li>・各種学校との交流を深め、運動を広げていきます。</li> <li>・協賛を企業にまで広げ、協賛金を増やし、運動を広めていきます</li> </ul>
その他PRしたい点	<p>※小学校区より小規模(単位町内会等)で実施の場合は、広がりについても記入してください。</p>

## 事業スケジュール

			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議		企画委員会	企画委員会	企画委員会	企画委員会	企画委員会	企画委員会	企画委員会	企画委員会	企画委員会	企画委員会
準備・会議		会議	会議			会議		会議		会議	
事業執行		マスクミのキャラ ー	岡山工業高等学校生徒との懇談	プレート配布 だより配布 交通安全週間 自転車マナー教室	岡山大学と隣町内会との懇談 京山中学校生徒との談		だより配布	プレート配布 E S D フェスティバル		だより配布	
反省会					総括会議				総括会議		
監査報告会									会議		
次年度企画会議									企画会議		